企業の経営者・管理職・人事担当者の皆様へ

# 一人ひとりの強みが活きる、働く場へ。

本人と職場、双方の工夫を考える
研修・動画・教材のご案内



苦手さや行き違いが目立つとき、その人の興味や得意なこと、強みが見えにくくなっていることがあります。

発達特性によって、先の見通しを立てること、説明の意図の理解、人とのやり取りなどに苦手さがある場合があります。失敗や注意される経験が重なると、「また失敗する」「相談しても分かってもらえない」と感じ、確認・相談や新しい挑戦をためらうこともあります。

本人の特性・強み・課題とこれまでの経過を捉え、指示の出し方、業務手順、人間関係など、職場環境とのズレを整理します。個別支援から就労・職場定着までの実践経験をもとに、本人が身につけていく方法と、職場で調整できることを考えます。

### こんなすれ違いはありませんか？

- 得意なことはあるが、苦手さや報告・相談の行き違いが目立つ
- 口頭の説明では抜けが生じるが、文章や手順書があると取り組める
- 配慮の申し出に、どのように対応すればよいか迷う
- 本人も上司・同僚も工夫しているのに、同じ行き違いが繰り返される
- 採用・配置後のミスマッチや離職を防ぎたい
- 職場で調整することと、本人と一緒に工夫することを整理したい

## 研修で大切にする視点

**知る**
特性・強み・課題・経過

**見る**
本人・仕事・環境のズレ

**調整する**
双方でできる工夫を試す

### 研修で学び、動画で確かめ、教材で実践する

動画シリーズ「学びと暮らし」や手順・確認・振り返りの教材を組み合わせ、日常の仕事に活かす方法をご提案します。

支援・研修のご相談｜合同会社コンパス（今井）
**TEL 0566-70-8620**

テーマ・対象・時間はご相談ください。実施回数、動画・教材の提供・制作等の対応範囲は、ご相談のうえ契約内容に応じて定めます。

# 企業の課題に合わせて選べる、6つのテーマ

本人の準備・工夫と、職場でできる環境調整を、双方から考えます。

### 1 発達特性と、力を発揮しやすい条件を理解する

発達特性や情報処理・コミュニケーションの違いを、職場で起こる具体的なすれ違いから理解します。

### 2 本人 × 仕事 × 環境　ズレをどう調整するか

仕事内容、指示、情報量、スピード、役割、人間関係、評価方法などを整理し、職場側・本人側で可能な調整を考えます。

### 3 伝わる指示・質問・報告の「型」

曖昧な指示を具体化し、文字・チェックリスト・AI等の活用も含め、本人が力を発揮しやすい方法を考えます。

### 4 管理職・上司も含めた「職場のすれ違い」を見直す

部下への働きかけと併せて、上司・同僚の伝え方や関わり方も見直し、すれ違いの背景と調整方法を考えます。

### 5 人材の強みを活かす　配置・定着・離職予防

強みと課題、これまでの経過、環境との適合を捉え、本人の自己調整と職場の調整を組み合わせて、働き続けるための土台を考えます。

### 6 具体的な職場ケースから考える研修

実際の困りごとを個人が特定されない形で整理し、管理職・人事・支援者が取れる対応を事例検討します。

## 対象・形式

**対象**　経営者／管理職／人事・労務／現場リーダー／産業保健・就労支援関係者
**形式**　講義／グループワーク／事例検討
業種・課題・対象者に応じて調整します。

## 研修で得られること

- 本人・仕事・環境の関係から、困りごとを整理する視点
- 指示・確認・報告の方法を具体的に見直すヒント
- 本人と職場で試す工夫と、振り返るポイント

支援・研修のご相談｜合同会社コンパス（今井）
**TEL 0566-70-8620**

テーマ・対象・時間はご相談ください。実施回数、動画・教材の提供・制作等の対応範囲は、ご相談のうえ契約内容に応じて定めます。

# 支援と就労定着の実践から、見えてきたこと

本人の経過・今の状態・環境との関係を捉える。

学校・教育機関、医療、職業訓練、行政等からの委託就労支援、就労移行支援などの場で、生活の安定から社会参加、就労・職場定着までの支援に携わってきました。

本人の思い・生活背景・経験を丁寧に聴き、現場の様子や各種ツールの情報と合わせて、強みや苦手さ、力を発揮しやすい条件を捉えてきました。失敗による不安や自己否定感も受け止め、経験を捉え直し、できていることに気づけるよう支えています。安心して「できた」を重ね、自信や自己肯定感、次への意欲につながる条件を整えます。

現在は児童期の支援にも携わり、教材づくりやSSTを通して、将来の生活や就労への備えを支えています。

## 本人の意向と「今の状態」を起点に、段階的に

就職だけを目標にせず、健康管理・生活リズム、お金の確保や管理、人との関わり、自己理解・対処方法など、暮らしと働く土台を整えます。

「働きたい」という希望と心身の状態・生活状況を踏まえ、何から、どう取り組むかを一緒に考えます。本人が納得して選び、決めたことを実行し、経験を重ねられるよう支えます。制度や社会資源、関係機関との連携、学校・職場への働きかけを組み合わせ、希望や状態の変化に応じて目標や方法も見直します。

## 本人側の対策だけでは解決しないことがある

メモや手順化、質問の仕方、予定管理などを工夫していても、職場の理解や業務設計と大きなズレがあれば、十分に力を発揮できないことがあります。伝え方や業務の整理、確認方法を少し変えることで、持っている力を発揮しやすくなることもあります。

上司・同僚を含め、物事の捉え方や情報処理、コミュニケーションの仕方は一人ひとり異なります。特性と仕事・環境の組み合わせを見ながら、双方の伝え方や関わり方を調整します。

### 見るポイント

- 特性・強み・課題と、担当業務は合っているか
- 情報の受け取り方や、指示の量・優先順位・完成形は共有されているか
- 同じすれ違いの背景に、どのような経過や条件があるか
- 本人の準備と、職場の調整は何か
- 役割・配置・外部支援を見直す余地はあるか



支援・研修のご相談｜合同会社コンパス（今井）
**TEL 0566-70-8620**

テーマ・対象・時間はご相談ください。実施回数、動画・教材の提供・制作等の対応範囲は、ご相談のうえ契約内容に応じて定めます。

# 学びを、一度の研修から日々の実践へ

必要な配慮を、人材の活躍・定着につなげる。

指示の明確化、役割・確認方法の整理、得意な方法の活用を通して、本人の力を引き出し、すれ違いや再説明、手戻りを減らす工夫を考えます。本人と職場の双方にとって、続けられる方法を探します。

01　ともに考える
### 対面研修・事例検討
現場の困りごとを整理し、本人と周囲の双方で試せる工夫を考えます。

02　繰り返し学ぶ
### 動画教材
「学びと暮らし」を活用し、対象と時間に合わせて学びを深めます。

03　日常で試す
### 教材・記録シート
手順を確かめ、練習し、振り返る。小さな実践を支える教材を活用します。

動画教材のご紹介

## 動画シリーズ「学びと暮らし」

21テーマを、本人・家族・支援者・職場など6つの立場で学べる動画教材。1・3・5・10分版を、目的と時間に合わせて選びます。

報告・連絡・相談　自己理解　集中と切り替え　仕事・暮らしの調整

活用例：事前視聴 → 研修で職場の場面を検討 → 実践・振り返り。



### 教材で「分かった」を「やってみる」へ

指示確認、時間管理、集中と切り替え、数量・分類・検品、修正・再確認、学習と復習などの教材を活用。手順を確認し、実際に試し、本人・職員の記録シートで振り返ります。職場の場面に応じた活用・調整をご相談いただけます。

## 複数のケースから見えてきたことを、次の職場へ

一つの方法ですぐに解決するとは限りません。試行と振り返りを重ね、何が繰り返され、何が変化のきっかけになったのかを確かめます。個々の事例から共通する改善点を見いだし、次の支援や職場づくりに活かします。

知る → 見る → 調整する → 試す → 振り返る → 定着へ

相談・情報共有、受け入れ・育成の仕組みを整え、担当者一人に頼らず続けられる体制につなげます。児童期から成人期、社会に出てからのつまずきや就労・職場定着までの知見を、研修や教材・動画・道具の活用も交えて共有します。必要に応じて外部支援も活用し、無理を重ねず働き続けられる職場を目指します。

**「誰が問題か」ではなく、「どこにズレが生じているか」を見る。**

支援・研修のご相談｜合同会社コンパス（今井）
**TEL 0566-70-8620**

テーマ・対象・時間はご相談ください。実施回数、動画・教材の提供・制作等の対応範囲は、ご相談のうえ契約内容に応じて定めます。